

1/28 (B) 子ども会まつり開催! 日頃の練習の成果に拍手喝采!

第36回「浦添市子ども会まつり」「浦添市少年団体発表会」が浦添市立中央公民館で行われました。

まつり会場では、各自治会が沖縄そば作り体験や昆虫切り紙体験のブースを設けました。沖縄そば作り体験ブースは、開場前にもかかわらず長い列ができるほどの大盛況。参加した子どもたちも大満足な様子でした。

発表会は、司会を担当した屋富祖子ども会の子どもたちが「最後までがんばります」と意気込みを宣言して開幕。各子ども会に所属する子どもたちが三線や空手などを堂々と披露しました。



1/31(水) 暮らしに役立つ情報満載、 市民便利帳贈呈式

NTTタウンページ株式会社 (代表取締役社長 岡田昭彦氏)、光文堂コミュニケーションズ株式会社 (代表取締役社長 砂川幸雄氏)、NTT西日本沖縄支店 (支店長畔上修一氏) から市民便利帳、防災タウンページ、子育てタウンページが贈呈されました。

内容は行政情報、防災情報など浦添市の情報がわかりやすく掲載されています。また、新たに発行された子育てタウンページは、沖縄ならではの行事や子育て支援施設利用ガイドなど子育て世帯に役立つ情報満載となっています。2月から市内全世帯と事業所に順次配布されていますので、ぜひご活用ください。



1/28 (B) 新たに 2 mの城壁発見、 明らかになっていく浦添城跡

浦添城跡で新たに発掘された城壁が一般公開され、 約350人が見学会に参加しました。

城壁は沖縄戦による破壊や戦後に土木建築部材として運び出されたことによりほとんど残っておらず、2mもの高さの城壁を確認したのは今回が初めて。石積みの構造や浦添城跡のルーツを知るための貴重な発見となりました。

参加者は写真やメモを取りながら真剣に職員の説明を聞き、「強度はどうなのか」「どこから持ってきた石なのか」など活発に質問をしていました。今後さらに調査が進められ、当時の姿が明らかになっていくことに期待が高まっています。



1/31(水)・2/6(火) 先祖の暮らしに触れ、歴史を学ぶ

牧港小学校 (1月31日) と内間小学校 (2月6日) の3年生合計180人が昔の道具を調べる授業で浦添市歴史にふれる館を訪れました。

市の専門職員から市内の遺跡で出土した土器や石器をはじめ戦前戦後の民具まで様々な道具の説明を受け、浦添で育まれた数千年の歴史を学びました。

特に民具の展示コーナーでは多くの民具に触れたり、初めて見る脱穀機や石臼などを実際に動かす体験をするなど、興味津々の様子で熱心にメモや絵をまとめていました。



2/15 (\*) 浦添市オリジナル婚姻届で 幸せ誓う

婚姻という大切な人生の節目を思い出深いものにしてもらおうと『浦添市オリジナル婚姻届』を作成し2月から配布しています。婚姻届にデザインされているのは浦添市の花「オオバナアリアケカズラ」。花言葉は「永遠の幸せ」です。



1/27(±)・1/28(日) ミュージカル 「尚寧王」 大盛況に終わる

浦添ようどれに眠る琉球国王第二尚氏第7代国王尚寧王を題材としたミュージカルがてだこホールで2日間行われ、多くの観客から大きな拍手が送られました。この公演は、昨年9月から公募で集まった小学生から一般までの市民ら69人が挑んだミュージカルワークショップの成果発表で、参加者からは「4か月間仲間と一緒に練習してきて、上手くフィナーレを迎えた時は思わず涙が出た」「大変だったが、とてもよかった。また参加したい」と達成感に満ちた声がありました。





2/4(B) 比嘉大吾輩、15戦連続KO勝ち!

1ラウンド 2 分 32 秒の KO 勝利で 2 度目の防衛成功!デビュー以来の連続 KO 勝利を 15 に伸ばし、日本記録に肩を並べました。



1/25 (木) おいしく学ぶ、琉球の食生活

全国学校給食週間を受けて、市長や教育長らが港川 小学校と沢岻小学校に訪問し、給食の会食を通して児童 たちと触れ合いました。

児童は、会食の前に琉球漆器の歴史や琉球料理の意味などについて学び、改めて昔と今の食の違いや考えて食べることの大切さなどについて考える機会となりました。

港川小学校5年3組の児童たちは、いつもと違う雰囲気での給食に会話をはずませながら給食の時間を楽しみ、新田翼さんは初めて使う漆器に「お箸やお椀が持ちやすくて食べやすいし、料理もおいしかった」と満面の笑顔を見せてくれました。